

日本社会情報学会ニュース

第 27 号 2006. 6.5

- I 新会長の挨拶
- II 理事会役員の変替と役割分担について
- III 2006 年度 11 回研究大会に関する詳報
 - 〈1〉 開催校と日程ほか
 - 〈2〉 第 11 回大会実行委員会
 - 〈3〉 一般自由報告、ワークショップ企画案の募集について
 - 〈4〉 開催要綱概要
- IV 学会誌編集にあたってのご報告とお願い
- V 学会誌『社会情報学研究』11 巻 2 号の原稿募集
- VI 会員番号の変更について
- VII 事務局より

.....

I 新会長の挨拶

会長就任にあたってのご挨拶

会長 阿部圭一

日本社会情報学会も設立後 10 年以上を経過し、社会情報学の分野において多くの活動実績や成果を生み出すとともに、学会自体も発展を続けてきました。しかし、一方ではさまざまな問題が顕在化しつつあります。研究大会・研究会のさらなる活性化、もう一つの日本社会情報学会（JASI）との関係、次期理事会（三選禁止規定がはじめて適用される）への円滑な移行などであります。

こういう重要な時期に会長職をお引き受けして、身の引き締まる思いです。伊藤守・前納弘武の両副会長をはじめ理事・監事の皆様と事務局から絶大なサポートをいただけるものと確信していますが、なによりも会員各位の積極的なご活動とご支援が必要であります。なにとぞよろしくご報告申し上げます。

II. 理事会役員の変替、役割分担および委員会構成について

去る 4 月 22 日（土）、2006 年度の第 1 回理事会（通算 42 回）が開催されました。今年度は、昨年の 8 月に実施した理事会改選結果ならびに会長・副会長選出選挙の結果にもとづき、理事会の体制も新しい装いのもとにスタートすることになりました。第 1 回理事会では、今期（2006 年 4 月から 2008 年 3 月まで）の各理事の役割分担および委員会構成について審議し、以下のとおり承認を得ましたのでお知らせします。

会 長	阿部 圭一:愛知工業大学経営情報科学部
副会長(主として学会内担当)	伊藤 守:早稲田大学教育学部
副会長(主として渉外担当)	前納 弘武:大妻女子大学社会情報学部
学会賞選考委員会 委員長	正村 俊之:東北大学大学院文学研究科
委員	須藤 修:東京大学大学院情報学環
	戸田 光彦:新潟大学人文学部
	橋本 良明:東京大学大学院情報学環
	森谷 健:群馬大学社会情報学部
研究委員会 委員長	伊藤 守:(前出)
副委員長	杉山 あかし:九州大学比較社会文化研究科
同上	今田 寛典:呉大学社会情報学部
委員(北海道地区)	高橋 徹:札幌学院大学社会情報学部
(東北信越地区)	古賀 豊:新潟大学人文学部
(関東地区)	伊藤 守:(前出)
	柴田 邦臣:大妻女子大学社会情報学部
(中部北陸地区)	安田 孝美:名古屋大学大学院情報科学研究科
(近畿地区)	黒葛 裕之:関西大学総合情報学部
(中国四国地区)	今田 寛典:(前出)
	梅津 颯一郎:呉大学社会情報学部
(九州地区)	杉山 あかし:(前出)
	森田 均:県立長崎シーボルト大学国際情報学部
学会誌編集委員会 委員長	炭谷 晃男:大妻女子大学社会情報学部
副委員長	黒須 俊夫:群馬大学社会情報学部
顧問	音 好宏:上智大学文学部
委員	飯田 良明:実践女子大学人間社会学部
	伊藤 賢一:群馬大学社会情報学部
	今田 寛典:呉大学社会情報学部
	岡田 安功:静岡大学情報学部
	金山 智子:慶應義塾大学メディアコミュニケーション研究所
	北村 順生:新潟大学人文学部
	須藤 修:東京大学大学院情報学環
	戸田 光彦:新潟大学人文学部
	中森 広道:日本大学文理学部
	服部 孝彦:大妻女子大学社会情報学部
	吉田 純:京都大学高等教育研究開発推進センター
渉外交流委員会 委員長	前納 弘武:(前出)
	西垣 通:東京大学大学院情報学環
法規委員会 委員長	黒葛 裕之:関西大学総合情報学部
副委員長	田村 泰彦:群馬大学社会情報学部

総括理事 長田 博泰:札幌学院大学社会情報学部
監事 小林 宏一:東洋大学社会学部
松田 美佐:中央大学文学部
事務局長 大國 充彦:札幌学院大学社会情報学部

Ⅲ. 2006 年度 11 回研究大会に関する詳報

(1) 開催校と日程ほか

2006 年度第 11 回日本社会情報学会 (JSIS) 研究大会は、かねてよりお知らせして来ましたように、日本社会情報学会 (JASI) との合同大会として開催いたします。開催日程ならびに開催場所は以下のとおりです。

- **統一テーマ** 「いま、あらためて社会情報学を問う-研究成果と展望-」

- **開催日程** 2006 年 9 月 12 日 (火)、13 日 (水)、14 日 (木) の三日間
(JSIS 総会 9 月 12 日 (火) 13 時 00 分~12 時 20 分)
(JSIS の大会プログラムは 12 日・13 日の両日に配置します)

- **開催場所** 学習院大学 〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1
(具体的な校舎・教室については、後日、お知らせします。)

- **ホームページ** (次の HP をご覧ください)
〈JSIS〉関連の開催情報 http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/2006_taikai/doc/taikai.pdf

- **参加申し込み方法と参加費**
参加費は、8 月 21 日 (月) までの事前申し込みの場合、「一般会員 5,000 円」、「学生会員 2,000 円」ですが、期日以降は、「一般会員 6,000 円」、「学生会員 2,500 円」と高くなります。

参加申し込みは、JSIS 事務局まで MAIL にてお申し込みください。

(2) 第 11 回大会実行委員会

大会委員長 伊藤 守 (早稲田大学教育学部)
大会副委員長 阿部圭一 (愛知工業大学経営情報科学部)
委 員 前納 弘武 (大妻女子大学社会情報学部)
音 好宏 (上智大学文学部)
大國 充彦 (札幌学院大学社会情報学部)

(3) 一般自由報告、ワークショップ企画案の募集について

以下の予定にご留意いただき、多くの発表希望ならびにワークショップ案をお寄せいただきますようお願いいたします。

IV. 学会誌編集にあたってのご報告とお願い

前・学会誌編集委員会委員長
上智大学 音好宏

「社会情報学研究」の編集・発行に関しましては、平素から多くの会員の方々に、ご協力、ご支援いただき、ありがとうございます。

さて、このたび発行されます「社会情報学研究」10巻2号の編集作業にあたりまして、問題となりましたことについて、ご報告とお願いがございます。

今回、投稿をいただいた論文に関しまして、論文の締め切り日を明らかに過ぎていてもかわらず投稿されたと思われる論文、その分量が投稿論文規定をはるかに超えて投稿された論文など、投稿論文規定を明らかに違反している論文が複数ありました。

学会誌を、年2回の発行体制にしたことにより、投稿論文の数は明らかに増加傾向にあります。特に若手研究者の投稿が増えたことは、学会の活性化に結びついていると考えられます。

他方、論文規定が守られていない投稿論文は、今号に関して特に多かったのですが、私が編集担当理事を務めておりましたこの4年間で、投稿論文数の増加に伴って、このような投稿論文が、若干、増えつつあるようにも思われます。

スムーズな学会誌発行のためにも、学会誌への論文投稿にあたりましては、投稿論文規定を厳守いただきますようお願い申し上げます。

V. 学会誌『社会情報学研究』11巻2号(2007年3月刊)の原稿募集

1. 投稿資格

日本社会情報学会会員であること。共同執筆原稿の場合は、少なくとも一人が会員であること。

2. 投稿原稿

A. テーマ 本学会の趣旨に添うもの。

B. 内容 未公開の論文または調査研究報告。

C. 枚数 400字原稿用紙換算で50枚以内(図表等を含む)ー原則としてワープロ原稿に限る。

D. 形式

a.原稿の第1頁は表紙とし、論文タイトル(和文および欧文)のほか、本文枚数、図・表の枚数、氏名、住所、電話、FAX番号、E-Mail番号、所属を明記する

b.原稿の第2頁には、欧文要旨(200語以内)を記載する。欧文要旨には、論文タイトル、目的、分析方法、結論を簡潔に記し、可能な限りネイティブ・スピーカーのチェックを受けて提出する。

c.図表等は、本文とは別用紙に記し、挿入すべき箇所を本文中に指定する。

d.本文は、下記URLに掲載の「論文原稿執筆の手引き」に従って記載する。

3. 投稿原稿の受付

A.投稿原稿は、査読委員会により査読を受けた後、掲載の可否を編集委員会が決定する。

B.投稿予定者は、9月30日(2号)までに、論文のタイトルをハガキで学会事務局に連絡する。

C.投稿原稿の締切は10月31日(2号)を必着厳守とする。投稿者は、審査用の原稿を3部およびフロッピーを学会事務局に送付する。

D.原稿等の送り先

11巻2号 〒069-8555 江別市文京台11番地
札幌学院大学社会情報学部 大國研究室気付
日本社会情報学会事務局 宛
TEL 011-386-8111, FAX 011-386-8113

4. 経費の負担

図表の折り込み、色刷り、アート用紙の使用等に要する費用は、投稿者が負担する。

5. 投稿原稿の掲載

A.投稿原稿の採否および掲載の配列などについては、編集委員会にご一任願います。採否が決定しだい編集委員会より連絡いたします。採用論文が多数の場合、一部の掲載を次号に送ることがあります。

B.掲載論文については、写真印刷のため、下記URLに掲載の「論文原稿執筆の手引き」にしたがい、書式および表記の変更をお願いすることになります。

VI. 会員番号の変更について

会員番号について、2000年以降に入会された会員の方の番号を変更しましたのでお知らせ致します。

会員番号は[A+入会年末尾2桁+通し番号]で構成されています。(学生会員の方は末尾にB)

2000年度入会会員からは冒頭のアルファベットをHとすることとなっていましたが、そのままAを付してきました。事務局移転に伴い引き継ぎ事項を確認した結果、不備に気づき、2000年度以降に入会された会員の冒頭のアルファベットをAからHに変更しました。お詫びかたがた会員の皆様にお知らせをいたします。

VII. 事務局より

4月から事務局を札幌学院大学社会情報学部でお引き受けすることになりました。何分不慣れなためご不便をおかけすることもあるかと存じますが、お気づきのことがあれば事務局へご連絡ください。

さて、事務局最初の仕事として学会ニュースNo.27をお届けします。理事会が交替したためもあって学会大会のアナウンスがやや遅れましたが、スケジュールに留意し、奮って多数の方が参加・発表されることを期待しています。

日本社会情報学会事務局 〒069-8555 北海道江別市文京台11番地

札幌学院大学社会情報学部内大國充彦研究室

TEL 011-386-8111 内線 5124 FAX 011-386-8113

e-mail : s-info@sgu.ac.jp

URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/>